

 <h1>宗岡二小だより</h1> <p>学校教育目標</p> <p>○よく考える子 ○やさしい子 ○たくましい子</p>	志木市立宗岡第二小学校
	令和4年度 No.6
	令和4年10月1日
	志木市上宗岡3丁目13番1号
	TEL 048 - 473 - 2305
	児童数10月1日現在390名



基礎・基本

可知良之

体育館の改修工事が始まり2ヶ月、順調に工事が進められています。工事関係者以外は立ち入り禁止ですが、先日工事の進み具合を確認するため中を見せていただきました。床板が全て取り払われ、体育館だったことが全く分からないような状態でしたが、基礎の部分はしっかりしているので大丈夫とのことでした。この基礎部分に問題があると、上物の工事に大きく影響が出てしまうようです。安心しました。

私たちは子どもたちの学習でも全く同様の考え方をしています。基礎的・基本的な教育を行うことが小学校の役割で、1年生の学習は全て基礎（学校では基礎・基本といいます）的な内容ばかりです。学年が上がっていてもその学年での基礎・基本はありますので、しっかりとここを身に付けておく必要があります。そうしないと、応用問題のように基礎を活用しながら進めていく学習でつまずいてしまうからです。小学生は学校生活そのものが全て学習ですが、その基礎・基本は教科の学習です。中でも最も大事な教科は国語です。

さらに、国語の基礎・基本は何でしょうか。人により意見は分かれるかと思いますが、私は「読むこと」だと考えています。昔から「読み、書き、そろばんは大事ですよ」と言われていました。まず最初が「読み」になっています。あながち私の考えも当てずっぽうではない気がします。

日本の素晴らしさは識字率が100%だということを知ったことがあります。



この文字は南インドのテルグ文字で書かれている掲示物です。ここには「あなたの子供に、次の病気を防ぐ予防接種を受けさせましょう。ジフテリア、百日咳、結核、ポリオ、破傷風」と書かれています。こうした大事なことが文字が読めないためにきちんと伝わらないことがあるのだそうです。そのために命を落とすこともあります。残念なことですが、文字が読めないまま大人になってしまった人が全世界では7億人以上もいるのだそうです。原因は学校に通えなかったからです。日本も明治5年以前は同様のことが起きていました。

文字を読むことで考えることができます。低学年では声を出して読むのが一番です。中学年以降は黙読しながら深く考え書き手の意図まで読み込む読みの力をつけていくと良いです。小学校教育の基礎・基本はこうした地道な毎日の努力の積み重ねではないでしょうか。